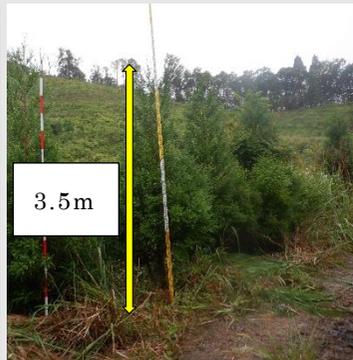


事例 6 成長に優れた苗木による効率的な再造林

(九州森林管理局 さいとこゆ西都児湯森林管理署)



- ・宮崎県児湯郡(こゆぐん)川南町(かわみなみちょう)尾鈴(おすす)国有林
- ・(左) 特定母樹から育苗された苗高 80cm のスギ苗木と従来のスギ苗木との比較
- ・(右) 平成 30 年に植栽して 4 年経過した植栽木(令和 4 年 6 月)

九州森林管理局では、将来にわたる二酸化炭素の森林吸収量を確保・強化するため、効率的な再造林に率先して取り組み、民有林へ普及を図っています。

さいとこゆ西都児湯森林管理署では、下刈りの省力化に向けて、特定母樹*から育苗された苗高 70~100cm の大きめのスギ苗木を植栽しています。従来の苗木に比べて植栽時の運搬等の負担は若干増えるものの、労働力の確保等が課題となっている下刈りの回数を減らすことが可能となります。通常、苗高 35~70cm 程度の成長が一般的な苗木を植栽した場合は、植栽後 5 年程度は下刈りが必要になりますが、本取組においては、平成 30 年に植栽した箇所で、令和元年度は下刈りを省略し、令和 2 年度は下刈りを実行し、令和 3 年度以降は下刈り終了目安となる樹高 170cm を超えたため下刈りを実施しないこととした結果、この植栽地での下刈り回数は計 1 回となりました。

この成果を踏まえ、今後、国有林野事業において、従来よりも大きく、成長に優れた苗木の活用による下刈りの省力化が可能な効率的な再造林の手法を民有林へ普及していくこととしています。